

市議会だより No.89



令和3年4月号(2021)

ようこそ 議会へ



↑ 議会ホームページ
はコチラ



千里浜なぎさドライブウェイを走る観光バス

第1回羽咋市議会定例会質疑・一般質問一覧 発言順序と質問項目

開議日：令和3年3月8日(月)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	酒井 一人	(1) 提案理由説明について (2) 第6次羽咋市総合計画について (3) 羽咋防災計画について	一問一答
2	浜名 等	(1) 羽咋駅周辺整備について (2) 地域の賑わい創出について (3) 定住促進宅地造成について	一括質問
3	櫻井 英一	(1) コロナ禍で落ち込んだ地域経済の支援策について (2) 移住・定住の促進策について (3) 女性ファーストのまちづくりについて (4) 市民活動支援センターの管理運営について	一問一答
4	大塚 幸男	(1) 新型コロナウイルスに対するワクチン接種の対応について (2) 羽咋駅周辺整備事業と賑わい創出について (3) 観光資源の整備と活用策について	一括質問
5	稲村 信成	(1) 自然栽培農法確立の支援について (2) 千里浜海岸の保全策について	一括質問
6	新田 義昭	(1) 除雪体制について (2) 移住推進・関係人口拡大に関するパートナーシップ協定書について (3) 飯山川にかかる橋の通行止めについて (4) 町会長会からの要望事項について	一括質問
7	山本 泰夫	(1) 人口減少に対応した持続可能な街づくりについて (2) 若者の婚活支援を強化することについて (3) 投票所の見直しについて	一括質問

開議日：令和3年3月9日(火)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
8	川口 雅登	(1) 新型コロナウイルス感染症について (2) 1月の大雪と災害対策について (3) 公民館と投票所について (4) 千里浜なぎさドライブウェイについて	一問一答
9	松永 幸則	(1) 自殺防止対策について (2) 羽咋創生総合戦略に基づく移住定住・関係人口増加対策について (3) 産業および観光分野の発展を見据えたドローンの活用について (4) 情報発信を含むデジタル推進担当部署の創設について (5) 健康寿命の延伸のための具体的取り組みについて	一問一答
10	浅野 俊二	(1) 教育問題について (2) カラス対策について (3) 千里浜インター～加賀屋(旧レストハウス)の下道について (4) 人身事故の真相解明について (5) コロナ禍での視察、陳情について (6) 千里浜海岸の浸食について (7) 柴垣海岸の護岸工事について	一括質問
11	北川 真知子	(1) コロナ対策について (2) AIオンデマンド交通システムについて (3) 生活保護制度について (4) 第8期介護保険計画について (5) コスモアイルの障がい者駐車場の整備について (6) 国保の子どもの均等割軽減について	一括質問



酒井 一人 議員

全ての計画は、 実行するために創るもの



休みは家族で、千里浜・サンセット・BBQ

未来への羽咋の取り組み計画に、成果指標を

【質問】 第6次羽咋市総合計画は、「ひと・まちづくり」をキーワードとして、基本構想で5項目、そして基本計画で28項目の現状と課題に絞り込み、83項目の施策内容を示し、主な取り組みで451項目上げられている。取り組みの成果指標は53項目上げられているが、10年後の目標として、451項目全てに成果指標、数値目標を持って取り組む姿勢が重要と考えるが、市長の考えは。

【答弁】 総合計画は、市の最上位計画であり、市政運営の施策全般について掲載している。総合計画では個別項目に成果指標を設け、進捗管理することは想定していない。総合計画の下の各種計画の中で、成果指標を設けながら進めていきたい。

市民のより安全のため、近隣市町と防災協定を

【質問】 市民のより安全のために、近隣の市町と防災協定を結び、互いの町の境界に住む人が、隣町の避難所や避難場所に速やかに避難できる体制づくりが必要である。そして、それを反映したハザードマップに改訂し、安全のために避難の選択肢を増やすことも、重要な地域防災計画と考えるが、市長の考えは。

【答弁】 氷見市とは、既に災害時の相互応援協定を締結している。災害の状況によっては、市民の安全確保のために、近隣の市町への避難も必要な場合が想定される。今後は近隣の市町との協定、併せて、ハザードマップや情報共有について検討し、市民の安全・安心の確保に取り組みたい。



浜名 等 議員

テイクアウト商品券を 新規事業で発行



更なる賑わい創出が必要な羽咋駅前広場

商品券5千円で1万円分の飲食物を持ち帰り

【質問】 テイクアウト商品券発行支援事業において、対象となる事業者とその商品券の販売方法等について、説明をお願いします。

【答弁】 対象事業者としては、店内で飲食を提供している飲食店等におけるテイクアウト商品で検討を進めている。参加していただく店舗はおおむね50店程度を見込んでおり、市外資本の事業者についても、要件に該当した場合は参加することができる。テイクアウト商品券の販売方法については、今後、関係機関と調整し決定する予定であるが、現在の基本方針では、事前応募制とし、応募多数の場合は抽選を検討している。

羽咋駅前広場にも更なる賑わい創出を

【質問】 羽咋駅前広場にはUFO型のイルミネーションが設置されている。道の駅「のと千里浜」のイルミネーションと比較すると見劣りが感じられる。それぞれの設置費用や電気料は誰が負担をし、どのように管理されているのか、説明をお願いします。

【答弁】 駅前のUFO型イルミネーションは、羽咋駅周辺にぎわい創出協議会が設置し管理を行っており、市からは15万円の補助をしている。また、道の駅のイルミネーションは、本市が設置し管理を行っており、新設を含む設置費がおよそ150万円、電気代は1ヶ月3,000円弱となっている。今後は、駅前周辺整備に併せ、多くの皆様を温かく迎えられるよう関係者で意見交換を重ねながら検討、整備していく。



櫻井 英一 議員

コロナ対策はこれからが大事



コロナ禍で頑張っている地元商店

コロナ禍で落ち込んだ地域経済の支援策

【質問】 コロナ禍のこの1年、飲食業、観光産業をはじめとして多くの業種が影響を受けた。そして、今なお厳しい経営が続いている事業所が多くある。今後も支援をお願いしたい。また、令和3年度はテイクアウト商品券発行支援事業を行うとのこと。大手企業の店舗も対象と聞かすが、ぜひとも苦境に立たされている地元飲食店のための事業となるようご配慮をお願いしたい。

【答弁】 今後どのような支援が必要なのか、引き続き地域経済の状況を注視しながら対応する。テイクアウト商品券発行支援事業については、現段階ではまだ詳細を決めていない。予算成立後、速やかに参加店舗を募集するが、その段階で大手企業の店舗をどうするのか決めたい。

女性が住みやすいまちづくり

【質問】 先般の新聞報道で、羽咋市の地方防災会議に女性委員が一人もいないと報じられた。まちづくりにとって、女性の皆さんの率直な意見を取り入れることは大変重要である。こうした各種会議における女性委員の比率改善と、女性が積極的に参加しやすい会議形式に改める具体策を聞く。

【答弁】 通信機器を使った在宅での参加や、子育て世帯が参加しやすいようファミリーサポートセンター事業などを利用し、託児ができる環境を整えることで参加しやすい会議形式になるよう取り組み、各種会議における女性委員の比率も改善していく。コロナ禍で多くの人を集める会議は難しいが、色々検討したい。



大塚 幸男 議員

実行力と行動力で輝く羽咋を



新たな観光スポット「長手島」

新型コロナ対策優先で市民の命と健康を

【質問】 ワクチン接種への周知徹底と医師会との調整や課題の整理は。集団接種を主として個別接種でも対応とのことだが、羽咋病院を含めた2会場では、スムーズな接種体制ができるのか。接種会場の増設や巡回接種の考えは。施設入所者や高校生の対応を含め、接種への手順や接種券の送付時期は。

【答弁】 医師会や関係機関と接種方法、接種日程、接種可能人数、運営方法など協議している。接種会場の増設は医療従事者の確保やワクチン配送などもあり2会場で実施したい。ワクチン供給量など確定され次第、4月中旬頃に個別に案内する。

観光資源の整備とその活用策

【質問】 本市の代名詞である千里浜海岸が消滅し

ないうちに抜本的対策を国・県に要請せよ。妙成寺文化財総合調査報告書を刊行し、文化庁にも届いているが国宝化への道のりは。能登地方に風力発電の建設計画が急増しており、妙成寺の景観影響など環境アセスでの本市の意見は。長手島にはホットな伝説もあり、魅力的な景観である。海岸線の護岸やマリンスポーツの環境整備とともに島の魅力を再発見し、遊歩道や照明、釣り公園整備で新たな観光スポットとして発信を。

【答弁】 千里浜海岸には4基目の人工リーフが完成するが、県では早期に対応すること。妙成寺の調査報告書に対し文化庁の一定の評価があったが、関係機関の協力を得て進めたい。長手島はトンボロ及び陸繋島として登録されており、漁業関係者へ配慮しながら景観整備を検討したい。



稲村 信成 議員

千里浜海岸保全策は、 待ったなし



千里浜海岸3月7日通行止

自然栽培農法の確立支援を求める

【質問】元JAはくい組合長故芝田正秀氏が「これからの新農法だ」と提唱された。

農薬等を使用しない自然農法で、安全で美味しい自然栽培農法をJAはくいと共に探求し、ベテラン農家から若い農家へ引き継がれる農業改革による市の活性化を求める。

【答弁】自然栽培農法は食の安全・安心を訴求し、本市の農産物のイメージ向上に貢献大。ゆえに作付け面積に対する助成や新規就農者に対する家賃補助等の支援を実施。能登里山農業塾での更なる就農者自立等をはくい式自然栽培実行委員会で検討する。

千里浜海岸の保全策を求める

【質問】今年の荒天により千里浜なぎさドライブウェイの柳瀬地区は早々に通行止めとなった。車が走れる砂浜は世界で数ヶ所のみ、まさに千里浜なぎさドライブウェイは世界遺産にも匹敵する自然環境である。羽咋市民がこの遺産を守り繋ぐ為にも、市長の基本的な対応方針を示して欲しい。

【答弁】千里浜海岸保全・利活用推進協議会（羽咋市と宝達志水町で組織）等で、県及び国の関係機関へ「浸食対策」を求めて要望活動を継続する。県では浸食対策効果検証及び原因究明の学術的な議論がされている。本市でもふるさと納税制度も活用して、全国に現状発信や保全活動を進めている。



新田 義昭 議員

市民目線を第一に



通行止め中の宇土野橋

大雪に備えた除雪体制の対策と強化を

【質問】市民の皆様から除雪に対し、様々な声がある。スマートフォンやGPSが普及している中で、除雪車がどこの町を除雪しているのか、市が把握し、管理できれば市内の効率的な除雪体制をつくることができると考える。

また、国道や県道は10cmで除雪する。市は15cmである。石川県と市の出勤を同じにしたい。

【答弁】現提案のスマートフォンやGPSの活用については、除雪車の位置の把握が可能であり、効率的に除雪できる。システム導入に費用がかかる。財政事情を考慮しながら検討する。積雪及び降雪予報を考慮して、10cm以上積もれば前倒しで初動を行う。

飯山川に架かる宇土野橋の通行止めを問う

【質問】宇土野町と両白瀬町から要望書が出ている橋の解体はいつ頃か。新しい橋の完成予定を聞く。羽咋市が管理する橋の数は。今後、長寿命化や改修する橋の数をお聞きする。長寿命化の工事が完了した橋梁はいくつかを聞く。

【答弁】橋台の沈下により、通行に危険が生じるため昨年より通行止め。橋の解体は、地質調査と橋梁設計を行っている。令和3年10月頃に解体を含めた架け替え工事にかかる。橋の完成は、周辺道路整備を含め令和5年度の完成を予定。市内で国が管理する橋梁は16橋。県が管理する橋梁は92橋。市が管理する橋梁は166橋で、今後10年間で55橋を改修する。改修完了した橋は16橋である。



山本 泰夫 議員

人口減少に対応した 持続可能な街づくり

若者の婚活支援強化

【質問】 縁結び支援事業として結婚相談員の育成、活動支援、婚活イベント開催や自分磨きセミナーの開催支援、本年は広域連携によるイベントの開催が予定されている。相談員の育成、活動実績、イベント、セミナーの開催実績、本年の婚活イベント開催はどのような趣向を考えているのか。

【答弁】 結婚相談員は12人登録されている。活動実績は、男女双方への面談等129回実施。この制度開始から2組成婚。H23年度からイベント、セミナーの開催実績は、7団体が実施しており、84組のカップルが成立し3組が成婚。H27年度からは委託事業として52組のカップルが成立し、2組が成婚。本年度はウェブ等を活用し、広域的な魅力を盛り込んだ婚活イベントの開催に取り組む。



オンラインで婚活パーティー

投票所の見直し

【質問】 H27年6月公職選挙法の一部改正は、選挙権年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられた。また羽咋市においては、R元年よりマックスバリュで期日前投票所が開設された。第1投票区から第15投票区、期日前投票所が2ヶ所あり、昨今は期日前投票が50%を超える状況である。行財政改革の観点、各投票区の比較から投票所の見直しをすべきではないか。

【答弁】 市内には投票所は15ヶ所あるが、期日前投票者が増加し当日投票者が減少していることや、職員の減少により事務従事者の確保に苦慮していることから投票所の見直しは必要と考えている。選挙費用が削減されることから投票所の見直しを検討する。



川口 雅登 議員

千里浜なぎさドライブウェイ の早期復旧を

余喜公民館の雨漏りと投票所の見直し

【質問】 余喜公民館の玄関からホールにかけて雨漏りがひどくなる。各種団体が使う公民館。地域が輝くには、地域の人達が集まる公民館が必要である。余喜公民館の雨漏りの修理が必要である。地区に1つだと思っていた投票所。邑知地区には5つの投票所がある。期日前投票が50%を超える中、選挙の公平性、経費の削減、人材確保の観点から邑知地区の投票所の見直しを提案する。

【答弁】 公民館は、地域の活性化の場として大変重要な場所。雨漏りの箇所の修繕を行い、雨漏りは改善された。現在、投票所は15ヶ所あり、羽咋地区に2ヶ所、邑知地区に5ヶ所、その他の地区は各1ヶ所となっている。投票環境の公平性から不均衡を解消することが望ましい。



地域活動の拠点である余喜公民館

千里浜なぎさドライブウェイの早期復旧を

【質問】 千里浜なぎさドライブウェイは、ドライブできる日本で唯一の海岸である。一部砂浜が消滅し通行止めとなる。全面通行できるように国や県に要望し早期復旧せよ。

【答弁】 今冬の猛烈な波浪により、千里浜なぎさドライブウェイの一部が長期走行不能の状態になる。石川県知事に早期復旧を要望する。管理者の石川県から早期の復旧を目指し、3月中旬以降の高波が収まる頃から対策工事を行う。今後、様々な機会を活用し、引き続き国や県に要望活動をしていく。議員各位の御協力もお願いしたい。



松永 幸則 議員

自治体間競争に勝つための 具体的施策



柴垣海岸でSUPを楽しむ若者達

ワーケーションの優先的場所は

【質問】 ワーケーション（観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方）は、美しいロケーションが重要。本市の強みは海があること。優先的に設備投資を行うのであれば、千里浜なぎさドライブウェイ周辺や柴垣海岸周辺が望ましい。サーフィンやSUP（スタンドアップパドル）は柴垣海岸で盛んに行われており、今、若い方々がどんどん集まっている。市長の見解を。

【答弁】 千里浜地区や柴垣地区をはじめ市内でワーケーションを推進する施設については、国の地方創生テレワーク交付金などを活用しながら積極的に支援し、官民連携の取り組みとして情報を発信していく。

健康寿命を延ばすために健康ポイントを

【質問】 介護予防や健康寿命を延ばすためのインセンティブ、つまり動機づけとして、運動等に取り組む市民に対してUFOカードのポイント引換券など健康ポイントの導入をお願いしたい。

【答弁】 健康寿命延伸のためには、市民一人一人が自分の健康に関心を持つことが大切であり、健康づくりへの動機づけ、意識づけとしてインセンティブの提供が重視されている。今後も様々な健康増進事業を通じて、市民の健康づくりへの意識づけとしてインセンティブの提供を検討、実施していく。



浅野 俊二 議員

急ぐべきは、行動だ



柴垣護岸工事 カラス対策

柴垣海岸の護岸工事を急げ

【質問】 先般の「大しけ」で人家近くまで波が上がり、家の排水口から海水が逆流した。むしろ千里浜海岸より深刻な問題だ。不安で夜眠れなかったと言っていた。過去の災害で取り残された箇所でも個人所有地でもあり、相続手続き等、面倒な作業なので市は全面的に協力し護岸工事を急げ。

【答弁】 相続の手続きが必要だ。護岸工事は、県や関係機関、地元町会と協議する。財政事情や景観を考慮しながら実施する。まず土地の問題がネック。工事区間330m、工事費2億5,000万円以上かかる。工法は、階段工がいいのか擁壁工がいいのか県と相談し、一番効果的なものを検討する。長手島の漁港の陥没の件は調査対応する。

羽咋神社周辺のカラス対策を急げ

【質問】 北電への対応はどうなったのか。タカは効果があるがまた戻ってくる。回数を増やすのも良いが抜本的対策が必要だ。そこで提案するが、光や周波数のカラス対策器具を実際に使っている方は、カラスが木に巣を作らず非常に効果があった。もし羽咋神社に設置するとなれば、ボランティアで協力すると言っている。この器具は2,000円程度と聞くが試用すればどうか。

【答弁】 カラス対策について北電へ要請したら、電線への負荷が大きいので部分的な対応だったと町会から返答があった。今後、個人から要請があれば設置するとのことだ。タカによる追い払いは今後回数を増やしていく。議員提案の方法について検討する。



北川 真知子 議員

医療・介護・福祉従事者に 慰労金の支給を



公立羽咋病院

コロナ対策について

【質問】 ①新型コロナウイルス感染症の最前線で働いている医療従事者の皆さん、感染のリスクと闘いながら日夜頑張っている高齢者施設、福祉施設の職員の皆さんに感謝の気持ちをこめて慰労金の支給を。②高齢者へのワクチン接種が始まるが、集団接種の会場までのアクセスが困難な方もいる。タクシーの配車等検討できないか。③テイクアウト商品券発行事業と併せて宅配事業も立ち上げてはどうか。宅配サービスは、その利便性から事業所の従業員や高齢者の利用拡大につながる。お店にとっては新規顧客の獲得にもなる。

【答弁】 ①慰労金については、国や県が慰労金交付事業を実施しているので、市独自の支給は考えていない。②集団接種の会場へのタクシーの配車は考えていないが、集団接種期間中は、るんる

んバスの無料化やタクシークーポンの利用などについて検討する。③宅配事業を市の事業として実施することは、今後の課題。

介護人材不足は深刻、実数調査を

【質問】 令和元年度の県介護福祉人材に関する調査では、介護事業所において、大いに不足からやや不足と答えた事業所は67.7%に上っている。市として介護人材の実数調査を行い、充足率を明らかにせよ。

【答弁】 昨年11月に介護サービス事業所アンケートを行った。回答事業所の35%が専門職の採用及び確保を課題にあげており、人材確保が厳しい状況。今後、介護人材に関する実態調査を実施する。

総務民生常任委員会報告

○櫻井 英一 ○酒井 一人 寺井 哲也 大塚 幸男
塩谷 久司 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第13号「羽咋市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について」など、議案13件、請願3件。

3月16日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案13件は、全会一致で可決した。

また、請願第1号「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の請願書」については、賛成少数により不採択とした。

請願第2号「医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める請願書」については、賛成全員により採択した。

請願第3号「政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出を求める請願」については、賛成少数により不採択とした。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 情報通信技術を活用したオンライン申請について、いつから、どんな申請ができるのかなどの情報を市民へ周知する方法は、どのように考えているのか。

【答弁】 広報やホームページ等に窓口を設けて、市民に周知する。すぐに、全てのオンライン申請が始まるわけではないので、丁寧に説明する。

【質問】 子ども基金条例制定の経緯や子どもの定義について、また基金を積み立てるのに明確な目的があるのか。

【答弁】 子ども基金条例は、国からの指示では無く、市長の選挙時の公約としての強い思いから創設したもので、子育て環境の充実や健全育成に係る施策の推進を図ることを目的としている。なお、対象となる子どもの年齢等については細かく定義づけを行わず柔軟に対応していく。

また、3月補正で2,000万円の基金の積立てを計上し、新年度は、小学校入学時に祝金を支給して、今後ソフト面などを中心とした基金の活用を行う。

その他として、コロナ禍における市内商店街の現状と対策に関する質問・答弁がされた。

予算常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○櫻井 英一 川口 雅登 酒井 一人
松永 幸則 浜名 等 北川真知子 寺井 哲也
稲村 信成 新田 義昭 塩谷 久司 中村 孝清
山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第1号「令和3年度羽咋市一般会計予算」など、議案13件、報告1件。

3月10日から12日及び15日に委員会を開催し、慎重に審査した。

その結果、議案第1号及び議案第4号については賛成多数により原案のとおり可決。残りの議案11件、報告1件については、全会一致をもって、原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

※令和3年度予算について

【質問】 マイナンバーカードはどれくらい取得されているのか。

【答弁】 2月28日現在の交付率は24.7%である。

【質問】 広域圏事務組合の分担金は、前年度より8,578千円も増額になっている。理由は何か。

【答弁】 主な要因は、消防職員の防火衣を更新するための増額である。

【質問】 小学校のトイレ洋式化はどのような状況か。

【答弁】 新年度に23基の洋式化を実施すると、小中学校全体で71.1%の洋式化率となり、目安としていた70%を超えることとなる。

【質問】 上下水道の検針委託については、将来的に検針員の人材確保が難しくなっていくが、通信機能による検針は考えていないか。

【答弁】 通信機能を備えたスマートメーターは、既存のメーターに比べ高額なため、導入費用、通信環境等を精査しながら、今後、導入の検討をしていきたい。

その他として、生活困窮者自立支援事業について、千里浜海岸の浸食について、介護予防・生活支援サービス事業についての質問・答弁がされた。

※令和2年度の補正予算について

【質問】 テイクアウト専用のプレミアム付き地域商品券は、50店舗の参加を見込んでいるとのことだが、市内の飲食店の何%に当たるのか。また、市内業者と市外資本の業者でプレミアム分に格差をつける考えはないか。

【答弁】 市内でテイクアウトできる店舗は、およそ100店舗で、対象店舗の50%が参加すると見込んでいる。また、業者によってプレミアム分に格差を設けることは考えていない。

その他として、がん検診について、ちりはまホテルゆ華の改修事業についての質問・答弁がされた。



羽咋市 令和3年度 当初予算
一般会計の総額

117億1,000万円

前年度比 +7億1,000万円 (+6.5%)



産業文教常任委員会報告

◎新田 義昭 ○松永 幸則 川口 雅登 浜名 等
北川真知子 稲村 信成 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第15号「羽
昨いきいき市民活動推進条例の一部改正につい
て」など議案4件。

3月17日に委員会を開催し、詳細な説明を聴
取し、慎重に審査した。

その結果、議案4件は、全会一致をもって可決
した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】道の駅「のと千里浜」の設置看板について、
強風で被害を受けた看板の処理は、道の駅の保険
適用となるのか。今後の対策は。**

【答弁】看板は市が管理をしている場所に設置し
てあったが、保険は天災については対象外であり、
損害賠償額の決定を行った。今後強風を受けるよ
うな場所での看板等の設置は行わない方向である。

**【質問】市民活動支援センターの業務を指定管理
者制度にするということだが、市としてどのよう
なメリットがあるのか。**

【答弁】将来的には施設管理を含めた、民間の能
力を活用した提案型の運営を公募できるようにす
るために条例改正を行った。また、従来の委託業
務だと市が作成した仕様書により管理運営がなさ
れることから、さまざまな提案を応募してもらい、
センター機能をさらに充実させるために指定管理
者制度を導入する。

その他として、宅地造成の問題について、カー
ブミラーの予算措置について、千里浜温泉郷の活
用とPRについて、羽昨市の教育水準の引き上げ
における具体策について、千里浜なぎさドライブ
ウェイの浸食対策について質問・答弁がされた。

議会活動報告

- 1月7日(木) ・石川縣市議会議長会議員派遣研修 市町村議会議員特別セミナー 於：千葉県
～8日(金) 派遣市議会議員：酒井一人議員 研修議員数：25名(全国)
(研修内容)：①ウィズコロナ時代の日本経済 ②豪雨災害とその備え
③地方議会の将来に向けて ④地域コミュニティの現状と自治体の役割
- 1月19日(火) ・議会全員協議会
第6次羽昨市総合計画(素案)について
- 1月26日(火) ・議会改革特別委員会(勉強会)
タブレット端末による会議等のデモンストレーション(A社) 市執行部も参加
- 2月12日(金) ・議会改革特別委員会(勉強会)
タブレット端末による会議等のデモンストレーション(B社) 市執行部も参加
- 2月17日(水) ・石川縣市議会議長定期総会 於：羽昨市 休暇村能登千里浜
会務報告及び令和3年度歳入歳出予算並びに各市提出議案の審議
- 2月19日(金) ・新年度予算内示会
新年度予算の概要と重点事業等について
- 2月19日(金) ・議会全員協議会
(1) 令和2年度羽昨市一般会計補正予算(第14号)の専決について
(2) 新型コロナウイルスワクチン接種について
(3) 第8期羽昨市高齢者福祉計画・羽昨市介護保険事業計画(案)について
(4) 羽昨市災害廃棄物処理計画(案)について
(5) 1月7日からの暴風雪による被害について

令和3年 第1回定例会

3月議会 議決一覧

◇令和3年度羽咋市一般会計予算、令和2年度羽咋市一般会計補正予算など、議案36件、報告1件、追加提出された人事案件4件を原案のとおり可決・承認・同意した。請願1件を全会一致で採択、請願2件を賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議員提出議案第1号	羽咋市議会委員会条例の一部改正について	可決
議員提出議案第2号	羽咋市議政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決
議員提出議案第3号	羽咋市議会会議規則の一部改正について	可決
議員提出議案第4号	羽咋市議政務活動費の交付に関する規則の一部改正について	可決
議員提出議案第5号	羽咋市議会議員政治倫理条例施行規則の一部改正について	可決
議員提出議案第6号	医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める意見書の提出について	可決
市長提出議案第2号	令和3年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	可決
市長提出議案第3号	令和3年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可決
市長提出議案第5号	令和3年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可決
市長提出議案第6号	令和3年度羽咋市水道事業会計予算	可決
市長提出議案第7号	令和3年度羽咋市下水道事業会計予算	可決
市長提出議案第8号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算(第15号)	可決
市長提出議案第9号	令和2年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
市長提出議案第10号	令和2年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第11号	令和2年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第12号	令和2年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第13号	羽咋市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決
市長提出議案第14号	羽咋市子ども基金条例の制定について	可決
市長提出議案第15号	羽咋市いきいき市民活動推進条例の一部改正について	可決
市長提出議案第16号	職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第17号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第18号	羽咋市医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第19号	羽咋市国民健康保険条例の一部改正について	可決
市長提出議案第20号	羽咋市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
市長提出議案第21号	羽咋市介護保険条例の一部改正について	可決
市長提出議案第22号	羽咋市指定介護予防支援等の事業の人員、運営及び指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
市長提出議案第26号	羽咋市観光交流拠点施設条例の一部改正について	可決
市長提出議案第27号	第6次羽咋市総合計画の策定について	可決
市長提出議案第28号	損害賠償額の決定について	可決
市長提出議案第29号	市道路線の認定及び変更について	可決
市長提出議案第30号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)	可決
市長提出議案第32号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第33号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第34号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
市長提出報告第1号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算(第14号)の専決処分の報告について	承認
請願第2号	医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める請願書	採択

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案番号	議案名	川口雅登	酒井一人	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	塩谷久司	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果	
市長提出議案第1号	令和3年度羽咋市一般会計予算	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
市長提出議案第4号	令和3年度羽咋市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
市長提出議案第23号	羽咋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
市長提出議案第24号	羽咋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出議案第25号	羽咋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出議案第31号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願第1号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の請願書	×	×	×	×	○			×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第3号	政府に「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の提出を求める請願	×	×	×	×	○		○	×	×	×	×	×	×	○	不採択	

トピックス

ペーパーレス化に向けてシステム勉強会を開催【議会改革特別委員会】

議会改革特別委員会において「ペーパーレス会議システム」の導入に向けて、1月26日と2月12日に、2社のソフト開発会社を招いて、「タブレット端末を使用した会議システム」のデモンストレーション＝現状把握（勉強会）を開催しました。

勉強会には市長、副市長、市幹部も参加し、会議資料を提供する側と受ける側の双方の立場から、各社の「ペーパーレス会議システム」の機能を確認しながらの勉強会で、中にはリモート会議のプレゼンテーションもあり、ペーパーレス化に向けて一歩前進となる勉強会となりました。

市議会の主な会議は、本会議、各委員会、議会全員協議会等があり、その会議では羽咋市の将来の計画や現状など重要で多くの資料があり、その資料をもとに慎重に審議しています。



会議では上図の過程の中で、まずセキュリティ対策、共有資料の選定、会議を開催する側と審議する側の会議をより充実・効率化するための技能向上、資料の閲覧そして「議会の見える化」に向けての、ハード・ソフト課題を整理し、「ルール」をつくります。徐々にステップアップしながら、ひとり1台端末時代で頑張っている小学生や中学生に負けないように、市議会議員はひとり一人が汗を流さなければいけないと決意しています。

特別委員会では、「ペーパーレス化会議システム導入」に向けて、まだまだ様々な課題がありますが、各種会議における「コスト削減」「効率化」そして「羽咋市民への市議会の見える化」に向けて前進します。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。
〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議定会定

例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

編集後記

令和3年第1回羽咋市議会定例会では、新年度の羽咋市の姿について、本会議では11人の市議会議員が登壇し、各委員会においても市政議案を慎重に審議し、新たなスタートを切りました。

しかし、「コロナ感染症問題」はまだ先の見えない課題であることを再認識する議会であったと思います。

ひとり一人の命が大切です。「コロナ感染症が蔓延」しないように、飛沫感染拡大防止対策を確実に実行し、「コロナ弱者が蔓延」しないような市政運営が必要とされます。コロナ治療薬ができるまでは、「ウィズコロナ時代」を市民の皆さまと共に乗り越えましょう。

(酒井 一人)

市議会だより編集委員会

委員長	酒井 一人
副委員長	北川真知子
委員	川口 雅登
	松永 幸則
	浅野 俊二